

教材内容訂正のご案内

配布教材において、下記のとおり、誤りがございました。内容を訂正すると共に、受講生の皆様にご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

■ 教材：1級土木施工管理技術検定第一次検定 受験対策資料

| 頁 | 問題番号 | 誤 | 正 |
|----|-------|---|---|
| 39 | No. 2 | 正解/解答・解説 【No.2】…(3) | 正解/解答・解説 【No.2】…(1) |
| 40 | 例題 | <p>一般に、混合セメントB種を用いたコンクリートの養生では、普通ポルトランドセメントを用いたコンクリートより湿潤養生期間が長くなるため、(1)は適当でない。</p> <p>正解：(1)</p> | <p>《解説》</p> <p>(3)は適当である。一方、混合セメントB種を用いたコンクリートの養生では、普通ポルトランドセメントを用いたコンクリートより湿潤養生期間が長くなるため、(1)は適当でない。日平均気温が4℃以下になることが予想されるときは、初期凍害を防止できる強度が得られるまでコンクリート温度を5℃以上に保つため、(2)は適当でない。マスコンクリート構造物において、打込み後に実施するパイプクーリング通水用の水と、コンクリート温度の差は20度以下が目安で、温度差が大きすぎてもいけないため、(4)は適当でない。</p> <p>正解：(3)</p> |

以上